



「安心できる居場所づくり～その2～」

★学校にはたくさんの、そしていろいろな友達や先生がいます。楽しい?それとも…

学校には、たくさんの子供たち、たくさんの教職員がいます。

静かに勉強する時間もあれば、体育や音楽のように体を使って活動する時間もあります。

クラス単位で活動する時間もあれば、学年合同で活動する時間もあります。全校500人以上の子供たちで集まって活動する時間もあります。

「学校」と一言と言っても、様々なシーンがあるわけです。

★感じ方は一人一人違います。

子供たちの中には、大勢で過ごすことが楽しいと感じる子もいれば、苦手と感じる子もいます。「にぎやか」な場面を楽しみ感じる子もいれば、「静かなところへ行きたい」と感じる子もいます。これは、子供も大人も同じかもしれません。

★学校は、今

子供たちの表情やいつもと違う言動から、「何かに悩んでいる」「何かをつらいと感じている」と察して話を聞いてみると、その子が感じている「苦手」がみえてきます。

その苦しさから教室に入ることができなかつたり、学校へ行きたくないと思ったりして、登校困難になるケースが全国的にも増えています。

★すべての子供たちが安心して学校生活を送ることができるよう、

よつば小学校では、令和5年5月に

「よつばすまいる」 という部屋(校内教育支援センター)を開設しました。

★「よつばすまいる」とは?

Q:「よつばすまいる」とはどんなところ?

A:学校には行けるけれど自分のクラスには入れないときや、少し気持ちを落ち着かせてリラックスしたいときに利用できる、学校内の安心の居場所のことです。

1階に1部屋、2階に2部屋あります。教室棟から離れているので、静かに過ごすことができます。

月曜日の13:30～16:00は、2名の支援員がいてお子さんと一緒に活動したり、相談に乗ってくれたりします。この日は、親御さんのみの来室も可能です。

Q:どんなふうに過ごすの?

A:お子さんのペースに合わせて、個々に過ごし方を工夫することができます。

読書をする、ドリルをする、オンライン授業を受ける、工作をするなど

○「詳しく知りたい」という方は、見学もできますので担任もしくは学校(22-5666)へご連絡ください。日程を調整し、ご案内いたします。まずは、ご相談ください。